

JA おきなわ店舗統廃合計画を見直し、大宜味支店の存続を求める要望決議

令和2年2月7日付け琉球新報報道において、JA おきなわが全県的な店舗再編により支店や生産資材店などを統廃合することが報じられた。また、同記事では、JA 大宜味支店は廃止対象となり、今後は「よりそいプラザ」として位置づけられているが、本村地域にとって、支店の役割は大きく、存続は切実なものとなっている。

大宜味支店の役割及び存続の必要性は以下4項目である。

- (1) 本村は中山間地域という地域性から、農家・組合員及び地域住民にとって支店は地域の拠点であり、生活に不可欠なものである。そのため、今回の報道を受け地域住民からは、「廃止案を撤回して欲しい」「長期に渡り築き上げた信頼関係が崩れる」など、多数の不安の声が上がっている。
- (2) 本村には JA・郵便局以外に金融機関はないため、ATM が使えない高齢者にとって年金を受け取る JA 大宜味支店窓口がなくなると、地域の生活基盤そのものが弱体化する。
- (3) 農村地域である本村は、農業振興においても、支店と協力体制を密にしており、廃止は農政及び農業全体の停滞を招き、存続は村民の願いである。
- (4) JA 大宜味支店は、本村の指定金融機関であり、今後も継続させていく考えを持っている。

よって、計画の推進にあたっては、村行政や地域住民にとって多大な影響があることから、村や地域住民の意見を十分に考慮し、地域の合意なく廃止の対象としないよう、大宜味支店の存続を強く要望いたします。

以上、決議する。

令和2年2月17日

沖縄県国頭郡大宜味村議会

宛先 沖縄県農業協同組合代表理事理事長
沖縄県農業協同組合経営管理委員会会長